特別
へ5
6039
1

戸中中
横山重

46-4067

宮内省圖書寮

史誹諧の首たる人のもとあること事
世にあり[illegible]
事は中比伊勢國山田の神官荒木田
守武又山城國山崎より宗鑑とて此
道の好士侍りし[illegible]
たまりけるを[illegible]
千句をつゝけ京鑑は大筑波とまとて
世に所賞[illegible]
人もなく[illegible]
[illegible]

[illegible]ハあれども今は代々の
和上もあるまじき國を安全にして民乃
竈もにぎはひ[illegible]
[illegible]次諸道をも
[illegible]
[illegible]
古人乃例より西[illegible]
守武千句大筑波集[illegible]
[illegible]
[illegible]

武古老し拙見[illegible]
[illegible]
号侍る抑法ハ寛永八年[illegible]
[illegible]
句とりて同十年睦月[illegible]に記[illegible]
[illegible]武太子集[illegible]大筑波を
[illegible]
五百年分句ハ[illegible]千句に[illegible]
誠此[illegible]
て今[illegible]

狗猫集題目録

春部

元日 才一　若菜 二　子日 三
梅　鶯　霞
殘雪　雪消　春雨
木目　柳　松若緑
雪竹　土筆　芳和布
春月　雪雲　帰雁

雉子　蝶　椿
桃花　杏子　花
櫻　櫻桃　梨花
辛夷　海棠　小米花
茶花　躑躅　菫
巖　藤　歎冬
永日　蛙　喚子鳥
長閑云　暮春　雜春

狗猫集巻第一

春上

元日

長閑やかなる門の松　徳元
あらたまるとしのはじめ　貞徳
礼義をかたくまもる　長道

去年に変わらぬ
春の日の晴やかなる　春平

申の年に
去年にかわる西の国　宗友

年も人をうしなひ初い人をうしなひ年
春乃うるゝ時紙書やうるの度
わうもの年乃頭や島甲
年もうつり物子をうしなひ
もちひ乃うる餅を見んもの度
四方に出立うれる日是れ
老てうる二方見乃心乃
朝ひ出立やう乃春
数乃子い二親をとゝふ年始

宗必
道職
休音
奥之
長益
親重
利清
貞継
正直
氏重

福の神をとゝ日乃世事ゆ心世
乃出立きて行う天下
歳徳方子の方ゆうれ

長吉
長徳

米俵をうる方ゆう乃ゆ
年も米を目ゆ
日乃ゆ乃ゆ
山い出うるゆ
門よ松いうゆ
師走うう正月
乃うゆ乃車

一宝
長長
政昌
一之
重次
正信
政重

去る亥の年と成れば
年明てひらき初る梅や　古暦　正安
常勝

寛永七年庚午年
寛永七年の七月十九日
玄札
年つもれば
望一
国国
正重
年あらたまる年
成安
元亨元年辛酉
一正
申の月
利
我殺る
小国の年
之

年内立春
元亨元年
天筆や
正章
大上戸
和合楽
重頼
ものもらいの
物いそ立来る年や
世界
先立や
梅
元日
屠蘇白散
けさ

来る春八行を花の年ゆう三ノ日
春乃きて去年八行の水申れ年
去ル縄や春ともゆる成乃年
三ま小ぶらうなる西ノ乃れ
年もしゆ紙乃西ノ乃試筆
きう初きてや八ゆ信法材
庭之ましに年ノやられ度 貞徳
大ゆれ梅や法ノ乃ノ辰乃年 円
梅も先に印しゆ年れ度 円
けうたるぶらやゆ年 円

風凰も出ル社文ゆれ年 円
子八親ゆすゆ乃ゆ小 徳元
花梅や年花越ゆ花乃春 円
大ゆれ春乃ゆ乃 長道
元のえ正ゆれ
汲ゆ法乃ゆ乃柄杓れ 円
年玉八ゆゆ乃ゆ礼小 等
賞や梅ゆ梅乃柄杓ゆ春 円
せもけさ乃や春ゆ乃 円
けゆゆや連歌春ゆれ年 円

申のとしに

元日年をとるまでや太刀の輌頭　孝友

年ねとゝするはむかしのはしめかな　同

近日に春の山かと

あら玉子くたしてはや出た年　同

年も亥の年の日やことしかな

行てみる日はまつのたかね哉　貞継

元日ハ寅歳徳の方あきかな

年徳も此からとて寅の日哉　休音

餅よりて脈三の初のはれ哉　同

元日養のかけまハ

秋まきの年玉もらんおもかな　親重

喜雨とてもいくとせまての縄　同

ゆめをみや沢者に家の太刀もち　同

年もあるも此のことしの色白哉　正直

春の寿ふるのら花鳥哉　同

天下て近日吉のたちかな　氏重

寛永十年とし

寛永の十とせとはや門の春　長吉

去年の秋よ脈はるまて哉

夜乃雨と今朝乃春乃雪乃事歌　永徳

古今に之れ乃歌

来ん年も花乃春乃雪乃事歌　円

年徳乃雪乃流れや河乃瀬　円

春乃月と天乃川乃流れ　一之

寶乃年乃新年乃歌　一宣

若水乃光乃上乃長乃　重一

鶯乃暦乃歌乃夢　円

一年に年乃夢　円

年乃内乃春乃雪乃事歌　円

鶯乃初音乃口やあらん　円

光乃歌乃新年乃春乃　重頼

来乃年乃春乃雪と遠乃　円

春乃日乃盛乃光乃見乃　円

癸酉の年に

春乃乃酉乃歌出乃今年乃　円

若菜　付七種　円堂立

七種乃唐土乃名乃もちえん

陸奥守藤原朝臣抽善佛の産
或人云家にて七月朔日七種の
餅を白せしとあらそれて
たくさんなる草はなつるる
なるつるはなるかるくわつるる
ひたたる後にくるれ　寛徳
うの中にそなたくさ若菜　同
源氏にて上下に引の若菜　親重
籠をふりて立る物や　醤若菜　松花
そうろう八十一　切口の若菜　光家

もとゆく又荷や　この春の松　為松
をもとをもとを　文をもとの若菜　永治
俗人もをもとを　仲乃さ　民重
をもとのさひと　乃中の赤葉　西園
あるもの出ものを　若菜　宗一
七種をたくさ物　乃中　光貞
をもとの目黄の蘇の一　仗一
巣にてや若乃下なる　若菜　吉久
聖徳乃をもとの　若菜　成安
沙汰の口引をもと　常好

山家乃お者ら[illegible]ん[illegible]二葉荷　重頼

狂言師乃宿ゆく

[illegible]ん[illegible]乃[illegible]文を給葉字　同

子日

重頼日い人ゆくひて初乃ゆ

松根ゆ腰給ゆて物乃ゆ

海産とゆ乃ゆ神乃玉箒

ひゆて沢者に者乃物乃ゆ

松乃ゆ宮人餅乃子乃日ゆ　貞徳

初乃ひ乃ゆ是給ゆ[illegible]ゆ　徐宗

ゆ[illegible]ゆ者ゆ者ゆ[illegible]ゆ物乃ゆ　一成

門松乃見ゆ[illegible]ゆ物乃ゆ　正重

[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ物乃ゆ　同

男松ゆ者聖に[illegible]ゆ物乃ゆ　長吉

[illegible]ゆ小ゆ[illegible]ゆ物乃ゆ　重頼

梅

梅乃[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ

梅者ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ

[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ

雨よりこなたの梅乃花も所
形袖の白ひとつの梅乃花
咲て遠き好ふ木乃香のそ
徳寿を大名年の玉世年
徳梅世ひとつ咲出る白ひれ
ゆる色れ沉乃ましたの花
香四方に花梅乃梅乃白徳
所ふ所ゆ梅乃長梅乃白
数の中に梅乃徳梅四方行白
勢後の雨ふる梅花乃白白

こなたの四方て印とう花花白
小野ゆく鼠のよ
石梅やうんのこなたの遠山袖白
唐紙ふ鼠の
白梅の香ひ出だしや金香白
徳梅や先ひとつの花軍 徳え
やり梅乃花ふ木ふ白
出興器して
徳寿れ長梅や徳ふ器白
小野にふく

西園寺梅乃立枝ハ同
木の母式部の立枝ハ梅乃兄　光義
葉ハ兄と違ひ葉ハ梅乃緑色梅　貞盛
蕾ハ新使うひ〻しく梅　立家
花梅乃紫ハ濃く立ひ〻ハ赤梅　冨沢
花ハ白のえう梅ハ園乃井　光貞
臭ハ宛しあり　盛義
香う〻香式ハ梅乃紅梅　光言
梅乃枝ハ口の花ハ梅乃面　光貞妻
むらうえハ南へ向ひハ日ハ立うハ　正安

遠近へ香式ハ梅乃嵐ハ　望一
五枝梅乃花ハ〻ひ〻ハ朱〻ハ立　同
咲ハ兄の兄ハ五枝ハ白ハ赤　同
梅う〻香ハ〻ひ〻ハ立て木ハ中天井　同
花ハ白ハ〻ひ〻ハ梅乃枝ハ　滋候
蕾ハ梅乃木ハ立の目黄ハ　盛親
松風ハ立ハ梅乃ハ立ハ立　宗仁
梅の香ハ立ハ梅の立ハ柳の立ハ髮　元郷
花ハ立ハ梅の木ハ立ハ　盛一
花ハ立ハ梅の立ハ花ハ兄　久重

梅にてうゑ木の乃ゑの合香　迚一
人毎に見るもの梅乃盛なれ　孝時
風ふく梅乃木ごとに色ぬ　益光
ゑ乃ゑて人ゑ梅乃梅花　武元
賞乃平れ之所やうの梅　京重
紅梅の多ゑ見やゝ日影　休音
梅未毎れ道具ゑ小梅ゑ　同
重風乃ゑ梅ゑ見ゑ　親重
梅の石ゑ梅ゑ　西重

春知ハ仏易ゑ梅花ゑ　同
賞ゑ実梅乃毛ゑ　長吉
梅の毛ゑ梅の卓書　同
一ゑ梅乃梅乃梅　教重
梅ゑ先梅ゑ乃花　氏重
梅ゑ梅ゑ人の自書　同
少ゑ梅ゑ梅ゑ北野ゑ　重教
梅梅ゑ風ハ実氏北野ゑ　同
ゑ乃ゑ梅乃ゑ　同

鶯

[illegible] 亨利

[illegible] 貞徳

[illegible] 同

[illegible] 徳元

[illegible] 亨

[illegible] 梅の谷

[illegible] 親重

[illegible] 同

[illegible] 長吉

鶯乃文の小袖を摺絵にする　宗悠

[illegible] 鶯や園乃竹　里一

鶯乃袖[illegible]や經の一乃巻　圭一

[illegible] 柳乃[illegible]　正徳

[illegible] 梅乃[illegible]　正利

[illegible] 蝶鶯　素拙

鶯乃月星日[illegible]　庭徳

[illegible] 平

[illegible] 山

[illegible] 山て中[illegible]　正徳

百[illegible]乃[illegible]

紫も梅の枝うつす玉藻かな　氏重
生き出るや法の春　南亞
梅坪の蛍ともなれば　重勝
梅の花光りの乃平の題　重教
ぎりぎりの蛍の数を人ぞきん　金蛍　同
　　霞
四方山にかすみの海の文霞哉
たてよこも見えぬ霞の海の
世を廣間天井とする霞かな

引ぬきの山の頭巾哉
春せばの風口あらく霞の邦
ぬきて見すれば霞の山の羽織哉
菜の日のうら日ふかく霞かな　利清
天の戸をあけてつれ霞　未武
ちらしてもまに霞や浦さび山　未裕
山と山とれくれる霞哉　久定

酒もの産物
ひとつ世も二盃の酒の霞　体南
ちらし京の酒の子の霞哉　重次

三輪の
足引山に松たちすゑる霞　親重
雅無庫
くれ惜の続橋の冬ゝ春霞　重影

残雪

きゆるとはたゝぬ雪の消ぬ間に　文性
年末の水ぬるゝ雪佛　無暖
山のふもとの雪ゝ　正友
若草の雪の日足の踏ゝ　永政

雪の軒の雪の残れる乃軒の雪　久永
雪綿と思くいとは日の仕中に　成秀

春氷

春ゝ立て氷ゝ　貞徳
明ゝ春や無沙汰ゝ
氷ゝ解水ゝ　重
春口ゝ氷ゝ　休甫
ゝ行ゝ氷ゝ
ゝ行ゝ氷ゝ
落ゝ氷ゝ踏ゝ日足ゝ　西恵

[illegible]

春雨

[illegible]

木目

[illegible]

吹風や[illegible]木乃[illegible]晴薬　武冨

[illegible]木の目[illegible]　親[illegible]

世[illegible]

春もまぢかの[illegible]木の目[illegible]　重[illegible]

柳

[illegible]柳[illegible]

きれぬ[illegible]乃糸柳

居眠の頭を[illegible]柳髪

[illegible]誰[illegible]

[illegible]柳の糸や小[illegible]

川[illegible]乃[illegible]糸柳

玉藻立川や柳の緑つゝ
青柳の糸多繁れる春雨 徳元
もゝ鳥の宮ゆゑ人の柳 同
ちゝ人や波の鼓の打ち 貞徳
ちゝの松と上に上に箱柳 同
川を立て流れの柳 同
船口にあるや柳や高楊枝 同
きりゝと井戸の柳の下の水 李友
軒下に糸たるゝ柳 同
野の雪地へ下り初

枝にたゝる地の糸の柳 同
玉垣の柳乃ゝ枝 休甫
新力を紀国の柳 同
川口や乃ゝ柳 休意
咲花乃番に柳や風の芽 同
春雨や海の藍汁の柳 玉益
髪ゆへ岸のひゝ乃ゝ柳 宗雪
水の枝たるや絹の柳 子益
川口にゆらゝや宮来柳 弘流
波のあや織や柳乃糸ゝ人 中若

[illegible]の糸もて柳[illegible]れ　武留
蜘の巣ハ虹の糸柳　南栄
[illegible]の柳の長月　親重
[illegible]柳乃ひんかゝ　同
[illegible]の髪ハ[illegible]　同
[illegible]の柳の[illegible]　同
彼岸の柳や[illegible]糸　長吉
春風ハ柳乃髪ハ頭風ハ　氏重
柳髪に[illegible]月ハ小櫛ハ　氏重
初[illegible]ハ柳の糸乃こゝ　同

[illegible]柳乃[illegible]の糸柳　一心
[illegible]とゞ[illegible]糸柳　未矩
蕎堵一[illegible]対
[illegible]の天狗だ[illegible]山　柳　重頼
糸柳[illegible]本[illegible]下[illegible]　同
火[illegible]糸乃柳陰　同
鶯の引[illegible]糸柳　同

松若緑
杉小野

[illegible]や十八[illegible]　正世
住[illegible]
住吉社[illegible]　[illegible]

春草

たんぢのあるじ[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

若葉して秋[illegible]　貞盛
中[illegible]　[illegible]
[illegible]人[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　盛常
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]人の[illegible]　[illegible]

土業

一の[illegible]　貞徳

大峯は峰やこゝも峰の町なか　同

絵ふかく

五筆中てかゝしや旅硯　同

さらさけの水の上行筆のあとし　政昌

道風ようこゝやかきし筆の花　正直

若和布

汁の子もうつしてかけの家　貞徳

ふみくまれ海辺の姿もまかれ　重勝

春月

花や月ものかしらもひく

空よりて雲楼石紙長ひく月　徐宗

三ヶ月のかすみやなきほら袖　惟

月のかほてこそ篠やゆりよらむ　惟玉

天の川かすむ子の初春の月　良徳

桂のよ入月もかすやかすみの衣　正章

下もえに鏡のくもる春の月　重頼

春鶯

[illegible] 徳元

帰鴈

[illegible] 貞徳

[illegible] 同

[illegible] 同

[illegible] 同

[illegible] 同

[illegible] 元

[illegible] 親重

[illegible] 玉琳

[illegible] 盛房

[illegible] 重次

[illegible] 重勝

[illegible] 重勝

[illegible] 同

[illegible] 盛重

雉子

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

蝶

[illegible]胡蝶の舞扇

[illegible]蝶や[illegible]

散花や[illegible]

[illegible]

花乃[illegible]胡蝶の舞や[illegible]

[illegible]胡蝶の舞扇　秋重

[illegible]花散蝶　親重

神[illegible]胡蝶　重教

舞の後[illegible]蝶　同

狗猫集巻第二

雲下

椿

[illegible]の[illegible]を椿の[illegible]
花入の口にうくや玉つくり　貞徳
木ちりに色[illegible]大[illegible]る　同
例[illegible]人を見[illegible]
[illegible]八[illegible]
世もとの八[illegible]乃椿の[illegible]　同
武[illegible]椿乃[illegible]

つゝみの内に咲題をよめる

[illegible] 徳元

小椿のうゑたる所に花

ひとりさきのこるもうつくしき 正直

伊勢椿の白花をよめる

岩戸なるひゝなの白しつゝ椿 親重

[illegible] 成重

[illegible] 重勝

椿花

百ぢのこゝろをこめて

磯ちかく花乃島うゑつゝ椿 貞徳

三月三日よめる

椿乃酒も宮ゐ口ひらくつゝ 正直

迎ふるは[illegible]れ[illegible]竜 重次

[illegible] 玄心

[illegible]椿乃木酒[illegible] 重勝

杏子

[illegible]行のあんずの竜乃竜 貞徳

花

於大原

大きなる酒呑たるぬるを以下
花の責めなるとて豊嶺れ
花乃香と鼻にて移る山法師
乗物と云て
第年も来て九月の花の四方
雨まつの花や親の不孝者
須ゝ広く

沙年を松風ふく須ゝの花
聖ゆるにく
立花を只ゝ八しん乃浄土哉

迎若ゝ
沙人を浄土の花の香家
藤沙八臨病風の花ゝ
子成まつ人無ゝ
神ゝ立て春ゝ花のあら 真徳
平ゝ面ゝ九ゝ花の四ゝ 同
咲ゝ年も去ゝ花ゝ 同

光堂法橋式

[illegible] 同

[illegible]

[illegible] 同

[illegible] 同

[illegible] 貞成

[illegible] 清一

[illegible] 同

[illegible] 祐信

[illegible] 利清

[illegible] 末良

[illegible] 孝勝

[illegible] 望一

[illegible] 常利

[illegible] 易勝

[illegible] 忠義

[illegible] 同

[illegible] 道成

[illegible] 重

紙もけさ紙をえらみや青丹亜　休音
紅やもんく織りこれ花乃表　同
黄の絹の本てらてらかくれ　同
ゆき紙の十分ゆかや花乃面　同

武者よ西しらく
散花い列子のの風よ法乃庭　素益
春風にうらうられてや花の笑　休甫
古里紙て山ゆ春の芳ゆ　同
花の下てらてつ萬ゆ青野樞　民至
蝶島も順乃兼ゆ花乃庭　同

墨て出花の多ゆ結ゆ　一巴
志賀に西しらて
黒主ゆあるよ野ゆ志賀宮　正亜
科ゆ伊乃花武ゆ西乃是　同

高野一ゆ府
花乃義ゆや次第不動板　貞継
手代花ゆ長い法ゆ成方
ゆる島い花乃錦ゆ京徳
ひもらくや交千金ゆ春ゆ　同
花乃香い赤梅檀の尺迦ゆ　同

風ふきぬる花よ鐘堂の机かな　長吉
川の流れ文所かや花筏　正信
花ゝくさ佛しるすや二月堂　政恵
ひかりとゝ花の都ぞ細工哉　同

美野山

滝ゆゑて皆花ぬれぬ山　親重
花と見る白雲乃都かな　同

高雄にて

花も火成ゆゑ雲ぬれん　同
天と花よゝ雲ぬれ乱足　同

花ゆゑよゝ西ぬるや桁　同
花ゆゑ人誰も同ゝ頃ゝ又　同
楊貴妃乃花の出堀ハあるゝ哉　重頼
彼岸とて慈悲ゆゑ花かな　同
賞や水ゆゑ花乃滝　同
面ハ雪ゝ祖父ゝ春の花　同
男ハ中や復ゝ花ぬハ重程　同
見ゝ花乃磐や空海流　同

堀へまゝ

堀面とゝ花やうゝ波　同

吉野今うしてて
芳野今は花や目茶と氣乃藥 同
初瀬みく
花や寒しさらくにんん初瀬 同
紀州にて
花よ風ハ提婆う惡の釋迦の嵩 同
二月十五日東福寺へ西ゝ
彈寺ゝ花ゝ彈寺ゝ西ゝ 同
花見んてよ西ゝく
見ゝ花もと氣のゝとゝする櫻 同

櫻

ゝゝ花ゝ櫻ゝ
見ゝ人ゝゝゝ
山風乃吹口ゝ桜ゝ
ゝゝゝゝ
見て花七重花ゝ
櫻田ハ
白雲ハ

十町もつゝき豆腐やうな桜
武蔵野乃玉こしや口うつゝ焼ひつゝ
立なら坂松を祖父の焼ひつゝ
ゆくさのつゝる人やまきれも多桜
雨露の悪ものゝ色や大桜
花乃法ろもくや松をきりやつ京二
二条に咲ひん桜乃立ぬ松貞徳
教心ゝ乃絶谷の茶ひゝ同
三遠川越てもゝ見ゝ焼ひつゝ同
ひゝ乃ゝ乃長い桜乃ゝ乃ゝ同

人ゝひゝ誰も本ゝ作ゝ乃ゝ同
小野ゝて書ゝ乃二百翁ゝ又
謡曲と借ゝかれゝ書ゝ
二百翁乃花や合ゝい重ひつゝ徳元
読ゝ乃ゝ勝乃ゝ焼ゝ乃ゝ同
風ようゝく松やゝつゝ桜同
謡曲諸ゝ
花乃ゝ乃ゝ後者ゝ乃ゝ櫻川同
書式ゝ乃ゝ人やゝ逆物大ひつゝ不案
毒のまゝて作本作ゝ書

柳ちりて雨ぶりの糸ざくら　芳麦
ちりぬるまでに成しも山焼さてる松　同
ぬれしと礼ぶりや脇と成ぶりて　蓮道
きうしゆと辞して名ん伊勢桜　嘉平
強やうよう成ぶりれ名ん焼桜　同
花と見る人ゐ人ゐ大ぶりて　望之
ぶりてをけ名を火桜乃重の枝　同
花瓶のもぶりと堀ぶの桜ぶ松　同
出ぶりく小寸造作この家ぶりて　孝時
ぶりぶりぶりぶりれ女桜　同

春ぶりて人やうひぶむ都ぶて　清親
多ぶ書ぶて西紙ぶてや主桜　同
乃ぶ人を乃ぶくぶるやぶりて　文性
虎の乃ぶ花ぶ遍ぶて女桜　光真
風代衣ぶ日ぶ、ぶぶぶぶぶて　同
ぶ年ぶし法ぶやぶ主又桜　西麦
ぶく花ぶ主ぶぶぶぶる家櫻　常廉
笑花ぶ老乃果報ぶ姫桜　孤洸
山姫乃ぶて物のぶぶて　盛澄
ぶぶ文風花ぶぶ桜ぶ　盛一

[illegible]ん竺居やうの杖蓮撥　寄拾
掃地とあるものや蚊の家撥　廣重
花よ楽もまし泊やどりの友撥　宗仁
火撥の法てやうの松の枝　重益
硯箱結ぶも重なる法の花　光家
ひらくも理を知て咲法華　貞継
花見やうの碎て箕搖糸ひく　吉次
[illegible]ひとりの文撥　重次
[illegible]や[illegible]撥　重勝
[illegible]や[illegible]撥　西重

火櫻の久りたる花火　永治
朱の杖[illegible]を[illegible]撥　長吉
普賢象の法を[illegible]撥　同
[illegible]中に咲やうの太ひの　貞光
音の神ふるひの太撥　利清
焼ひて[illegible]の太撥　秋重
仏[illegible]の威や[illegible]家　同
鼻に似て[illegible]　同
仏[illegible]ものせよ[illegible]撥　正信
あやうれや[illegible]の[illegible]撥　同

草木も成佛の縁を普賢象 同
雪島をうかせぬ波の糸柳 良徳
ひたすらに黄なる柳と花の咲 同
見あらぬ日数の神うを花柳 同
長さまで花のうの蛇の家にて 同
咲ほどの蛇や指屋の家さて 同
大江にて見て花やくや猿眼 同
花に蝶のまゝ神楽うを花柳 同
蛙石の後ろの人このもとにて 同
糸柳 三月 柳の細糸 同

ひとうを尾もとの糸柳 親王
目の前ぬいまの方の大柳 同
年くるよ花咲やうの姥櫻 同

遥拝語

東風なるに西の柳 重頼
蛙の後ろの糸柳 同
ぬいまの方の糸柳 同
ぬいまの方の長の面 同
柳の眉をうの山の姿 同
唇このて花にて笑 同
酒うもて笑て姥柳 同

一ゑぞ山ぶきの櫻　同
遠く咲花をたづねてこの櫻　同
大櫻風をたのみ花ちるも　同
四辺の門を拂ふ大ぶき　同
河ぶそもあの紅ゐ河ぶき　同
ぶきの人ぶ苔も八重櫻　同
花ぶきの山ぶきの番賢歌　同
笛ぶきの笛の法の櫻櫻　同
三ぶきの役やつとめて生ぶき　同

櫻鯛　付櫻貝

花ぶきを実ぶきの鯛ぶきの櫻鯛　徳元
演やぶ文ぶ串や千年の櫻鯛　休甫
ぶ文ぶ演ぶ花の櫻櫻鯛　一二
櫻鯛ぶ櫻ぶ花ぶ櫻ぶ　一二
鉤ぶ丹ぶ花ぶて花ぶ櫻鯛　親重
奥も本ぶ乃ぶたぶの櫻鯛　宗俊
演やぶ実櫻ぶ乃ぶ鯛　長吉
山ぶや櫻ぶて花ぶは櫻貝　同
鯉は瀧本ぶ咲乃ぶ櫻鯛　重勝

堀かく
揺朝を浦乃苫屋に花見ん　重教

梨花

揺てこそ散て乃雪盛
散ぬ間の梅も初の本信ん　重盛
ちるとこそ乃ち乃花ん　貞継
早下すも世と春の種　氏重
咲やらて面や面乃花　重教

辛夷

ちるとなく順のこゝ乃雪ん　成安
咲枝を折もいとゝ乃ん　重教

海棠

人の目を見ぬ海棠に臨ん　貞徳
海棠乃袖も新の風の名　正直
折ん　氏重
海棠を作て居眠胡蝶ん　親重

海棠や咲てすぐに一祝ひ　重頼

小米花

賣うて價ゐん石ゐ先花

風ゐ枝とゐるゐ落とう小米花　休音

茶花　月摘

ゐゐ雨ゐゐゐゐゐゐゐゐゐ茶　久甫

ゐゐゐゐゐゐゐゐゐ宇治茶　重頼

宇治山のきゐん辨集ゐ茶摘ゐ　重頼

ゐゐゐゐゐゐ茶ゐ花賣ゐ　西鶴

躑躅

ゐゐゐゐゐゐゐゐゐ小豆ゐゐゐ　貞徳

花ゐゐゐゐゐゐゐゐゐ目ゐゐゐ　重頼

立ゐゐゐゐゐゐゐゐゐ　親重

うゐゐゐゐゐゐゐゐゐ　彦兵

きゐゐゐゐゐゐゐゐゐ　盛親

賀茂たんのゐゐゐゐ花の枝

西りゐゐゐゐ

磯ゐにゐゐゐゐゐゐゐ　重頼

重

成教寺の奥ゆき　貞徳

[illegible]　徳元

[illegible]　宗鑑

巖

[illegible]　一正

[illegible]　休甫

逃て[illegible]　親重

[illegible]

[illegible]　俊英

[illegible]　氏重

[illegible]　如利

[illegible]　吉隆

[illegible]　重勝

藤

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

或人祈願して西宮に

千年をへし七まきの書写藤　同

松のうへに藤のもゆる極楽流　同

大谷にて

沙羅双樹の谷の藤　同

松山の色もあらぬ花の力　寿義

松にうつる藤の力こそ　氏重

花咲かの花の藤の花乃良　貞光

うつ谷の藤の花乃良　盛一

松にうつる藤の花乃良　孝晴

花咲乃ぬるやたんぬ松山の　同

永日も藤の花乃良　仁安　重沢

花ふるよりふる松の雪　市貞

書写の跡の藤の花　宗長

姫松乃ぬるや藤の花　重勝

姫書よりの花や玉たすき　永治

友達の例ありて

ぬるの家

松にうつる書写の藤　重勝

歎冬

[illegible]山吹や鶯菜
咲色そふ山のかんなぎ　芭蕉

寺ふる奥の冬

山吹ハ色彼岸乃金屏　重一
歎冬ハ茂葉も金鈴也　言水

永日

[illegible]

[illegible]に
[illegible]日ハ[illegible]ハ[illegible]
永日ハ二日に[illegible]昼ハ[illegible]　盛況
天下に[illegible]日是[illegible]　重一
永日て[illegible]　氏重
[illegible]の耳ハ[illegible]　里結

高野にて

永日ハ諸國一日見乃辛却婆ハ　親重
延[illegible]　貞沙
曲水ハ[illegible]日乃酒宴ハ　言水

蛙

[illegible]や蛙乃平之[illegible]
[illegible]の云あ[illegible]
首代と世もる蛙乃[illegible]さ[illegible]　赤落
和方の師匠[illegible]と蛙[illegible]　貞徳
賞と蛙の[illegible]や平人石　親王
[illegible]つて蛙　宗俊
[illegible]出て田[illegible]る　盛親
軍にや男[illegible]　宗仁

[illegible]る子は生湯[illegible]波[illegible]道的
[illegible]の[illegible]る[illegible]蛙　平軍
川中て蛙[illegible]淡や[illegible]　[illegible]

喚子鳥

[illegible]山[illegible]の[illegible]子[illegible]　重頼

[illegible]鳥

春や[illegible]郭[illegible]
賞[illegible]子[illegible]　[illegible]　徳元

長崎や五十一たる鄭氏　武清

暮春

夢ていの長や蘆乃園やより　徳音

蘭長

花の義長い唐土ゆ　の毛やて水
初こそ沢潟てし来る　鞍馬寺　貞徳
かてて捨てて文乃山椒の木　同
宗旨世いすてられ　同

牛ゆ子よりて角乃長蘆ゆ　滝元

弥生三日住吉ゆく

堀いを西乃文まてひる　武友

如月初午に

美濃や宗祇ゆ　あ重
白紙引裂いて　意勝
長風い梢をゆ　西亜
山口乃長の蘆地やの　同

二月十五日よ

目たて支い去り　仏乃別ゆ　盛友

二月十五日

天命この月も終りぬれば 永盛

ほとゝぎすの音ずれ 改亜

初音はいかなる事ぞ 弟歳不 親重

住らしにく

見わたせば江の八重や此浦の 同

おもかげもうつるばかりや 同

天王寺の入日 同

弟年もうつる亀井殿の水 同

狗猫集 影見録

夏部

文衣 才一　新樹 二　余花 三

杜若　一八　牡丹

芍薬　若楓　卯花

葵　榊　蕤花

紫陽花　槽　椿子

時鳥　蛍　蚊 付文出

麻子　鮎　梅子
石竹　百合草　常夏
風仙花　鶴線花　菖蒲
五月雨　梅雨　早苗
芍竹　青梅　楊梅
桃実　栗花　梔子
夏草　蓮子　茅人参
夕顔　麻　瓜　付茄子　円小角豆

蓮　氷室　祇園會
夜月　短夜　蟬
白雨　扇　納涼
御祓　雜炊

拘攜集巻第三

夏

衣更

[illegible] 貞徳

[illegible] 慶元

[illegible] 貞徳

新樹

[illegible] 貞道

[illegible]ふ姥桜　徳元
木ノ下ハ[illegible]ノ木の末ニ　同
山姥や守ノ[illegible]の夏木立　休音
[illegible]　東本ニ　徳元
夜咲や実桜ノ花ノ花心　貞徳
夏ノ[illegible]ハ[illegible]の花　長吉
夜山ノ道や[illegible]ノ花　西亜

余花

嵐ノ[illegible]ノ月ノ花の敵ノ[illegible]　永治

杜若

硯ノ[illegible]ノ当座ノ[illegible]　玉平
我ト水ノ[illegible]ノ杜若　親王
繪師ノ此句ハ[illegible]　貞徳
[illegible]ノ[illegible]ノ[illegible]　宗波
[illegible]ノ人や[illegible]ノ[illegible]　西亜
[illegible]ノ人や何ノ[illegible]　玉彩

すてもなをしらぬ花の庭
手枕のまくらに先一とせの春の夜　西海

牡丹

[illegible]　徳元
[illegible]　同
[illegible]　[illegible]
[illegible]　利清
[illegible]草　西亟
牡丹[illegible]人[illegible]

猫つなぎも牡丹の陰を通りけり　重頼
塀のもと
連歌せいとの牡丹花の盛りかな　同

芍薬

芍薬の蕾こそ[illegible]
花ぶりはこんしやうの[illegible]　重頼
[illegible]　[illegible]
花の猫一尺やまこもの[illegible]　西沢
若楓　[illegible]

散りて淺やきるとの楓　季吟

老乃目ゝ見るは娵やわか楓　同

卯花

鳥には似ぬから時鳥の音　貞徳

卯花も白きは秋の夜明かな　同

盛見て横に残るやとう木花　季吟

卯花は藪ふちの家白妙に　休甫

或寺にて

卯花を成坊主や三具足　正由

寅乃時も先卯花は見残に　重頼

葵

作りなく実の成ぬてふこそ葵

梅の実もてむ葵はかうての紐　季吟

葩乃えんつえて又見るや葵哉　成安

榊

榊葉も出て只卯月に　氏重

藍花

落て又あれは雨にも藍の露　親重

数多く咲やまつの藍の園　一正

紫陽草

白く見ゆるところはあちさゐの蕚　如雲

橘

宿もなき畠はきえぬ匂ひ哉

木綿ふ人の多く代見えて

見る人も橘氏乃しるしかな　貞徳

門前に市も立花紅粉哉　同

香數と名に立花の匂ひ哉　同

来ぬはかたちはなもや附香　弘政

隠ねと立花やはしら常世花　重頼

柑子

門に出て見るや柑子乃花盛　貞徳

夜の日にむされし実や柑子花　同

花乃味や誰もしみよふ木　季友

時鳥

名乗るも民や橘取らて鳴

建仁寺にて

高きなに花やおけ　昆布子紀

竹の子の節や雨にあられけり　同

蝉に似ぬ耳の葉や郭公　同

所為けたゝかにも似る　杜鵑

三んて宮平の山路の花も何ぞ　同

此夜は下ゝ乃藥の経もなし

東寺にて

東寺に雨して

秘密も有れ真言郭公　貞徳

くゝし此宿にて

こゝの花や医師の宿の霍公　同

或寺にて

本尊を我もみけりさ郭公　同

泊まるきゝたるかくよ

実盛の跡名のしらぬ郭公　同

義経の事きゝたしや子規　同

猿轡をはなれての時鳥　同

啼さけるに門てやうつり時鳥　同

樂みに世代の花の取合血　同

新次の宿と書に鐵島　徳元

[illegible]子親　同
[illegible]杜宇　同
[illegible]寝語の望魂　善導
[illegible]子親山[illegible]蜀魄　同
[illegible]　俵甫
奥山[illegible]　俵音
一[illegible]　親重
[illegible]時鳥
[illegible]字も添[illegible]新[illegible]　同
[illegible]一虹[illegible]　西遊
子は親の[illegible]　[illegible]

同[illegible]太敷[illegible]時の[illegible]　同
宗祇[illegible]何[illegible]子親　光家
涅槃像[illegible]時鳥　重勝
郭公[illegible]雀[illegible]　同
昔の代[illegible]杜鵑　安利
山[illegible]子に[illegible]新[illegible]　利房
[illegible]　成安
[illegible]時[illegible]　賢結
[illegible]迦羅の初[illegible]時鳥　良[illegible]
石[illegible]郭[illegible]　良[illegible]
[illegible]口に[illegible]子親　良[illegible]

蔵耳にきくの味の味　醤
ひきてと人よりとれる杜字　氏重
地獄耳にもちてかけ子規　望一
うまとりてそこ耳ときれ郭公　同
天の戸や秋のくれ方　利法
泊くてほとときすの陸奥　元弥
耳のひくあつさや杜鵑　雪友
田方うつ音頭とかう　嵐島　彦亟
我朋乃鶯や木立ほとときす　重新
高砂や芋の葉の典薬頭公　同

蛍

蛍

夜中小屋乃火とも　蛍
簾の窓の風や蛍乃火吹　弁
小竹屋の月とかの蛍　量
宇治川て火花とす蛍　同
草辭苔の陰乃蛍ハ紙燭哉
夫布袖よりの西

貴布禰川鐵輪の火の花螢
高野山谷の螢の花螢　貞治
遠とやく螢の花やまの花　同
花螢竹にとまりて花火哉　芭蕉
芦の花の火の中にとまる螢　俳音
ゆらゆらと大雨雷の螢哉　正安
螢火や昼の池の水　光夏
螢火や川の淋中に夜の水　孝時
約束は京の螢の火の玉哉　寛成
花螢二王堂の川邊哉　正利

水と火の相性もよし紀螢　望一
見て牡と秋光の玉の螢哉　氏重
螢火や紙は墨の色の色　良徳
篝火も螢もひかる源氏哉　親重
川影に水の中なる火の螢哉　同
秋ひかる玉の上に花の月　同
田螢や長夏の火の行く花螢　一正
火ばちに見る人をみん螢哉　伊勢
　　殺生治
極楽の地獄の夏の螢　主教

[illegible] 扇乃[illegible] 円
[illegible] 麻衣 [illegible] の[illegible] 円
[illegible] 扇子乃[illegible] 円

数 付衣出

数[illegible]
数相やたちわたる[illegible]乃家
衣の秋と妹乃夜小[illegible]重数 久性
秋[illegible]や衣出 重丁
数老火い言つ[illegible]を相式 円

天[illegible]数老火乃[illegible]乃 [illegible]
衣の秋い数の付[illegible]式 [illegible]
[illegible]の数[illegible] 円

扇子

[illegible]扇子 宗年
指人[illegible]の[illegible] 親重
[illegible]扇子 重正

鮎

[illegible] 蔵

梅子

梅子が庭と射[illegible]や石竹
梅子の咲と[illegible]や見事　貞徳
[illegible]梅子南蛮[illegible]　同
梅子は[illegible]似[illegible]武　重一

石竹

咲花[illegible]石の竹　[illegible]

[illegible]石の[illegible]竹　常雇
[illegible]　[illegible]

百合草

[illegible]
[illegible]
[illegible]百合[illegible]餓[illegible]　貞道
[illegible]と誰も[illegible]の花　貞徳
百合[illegible]　弘治
[illegible]百合[illegible]　近周

[illegible]の博多百合　貞継

常夏

[illegible]　貞徳

[illegible]　威一

風仙花

[illegible]

鉄線花

磁石山よ抜てもなを鉄線花

鉄線ゑ花火乃形のたゝ武　芝麦

菖蒲

[illegible]　芝麦

[illegible]　正信

[illegible]　望一

[illegible]　親重

[illegible]　安利

五月雨

五月雨や大海知らぬ井の蛙　貞徳

五月雨や山名の屋の古天　芳爰

五月雨いかに菖蒲の根形成　親重

五月雨の雲に月日のあらぬ日　氏重

五月雨や海行とかとる小藤原　良滝

五月雨の水の出花の花ぶかし　吉久

五月雨いかに沙馬も海(アゴカ)ぶれ　重勝

古寺の上ゆかるる

沙檀の上ゆかるる雨やさびのこる　同

五月雨や下男へうれしの海　同

梅雨

梅の雨紙のやうなる太鼓張

菖蒲酒もまだ酒の梅雨　貞徳

山の神や水神となる妻の雨　長吉

早苗

苗小先汗の初の田草哉　辰長

足引の山田の苗や中風や　宗牟

母ひろの方に小田切鉄之助　重勝
腰物をうつる田方のすゑ　重勝

若竹

あれすゝきの竹の子なりけり　夜
うゑきの竹乃子なれはなるべし
竹の子を皆去性乃生ぜし
なりなれは若竹の子なれは　貞徳
乗乃子に実ならぬ歟うかゝ　同
ゆゑなれ子に竹の一すんのしるし　徳元

竹乃子に夜疫をすれ歟今　親重
乗り竹の中にてうゑ文世子　同
ゆ竹やうゑ乃子なれ出ぬ　宗仁
塩の和よ立てるに乗の根子　利清
乗れ子乃なりかはまるなれ　近周
やゝ歟に竹子をむつうゑる　孝時
竹の子なれをうゑ兄弟　也一
うゑ竹よ世代乗れ子なれ　盛一
若竹のゆゝ出たるなれ　長昌
隣よりうゑ乗の子なれ　政重

竹乃子ふみてゆる流れ　建一
友山乃おもかゝ赤の子たち　成安
赤の子地を生めや数乃　一心
白素の若竹　歳乃夜乃　重教

青梅

枝ふくらまを梅清やつゆのち　等義
能の花も世をとりまを梅清　成重
梅を実ふ匂ひ留めや花を　同

揚梅

山もとをまを梅ふ乃実乃梅を　貞継

桃　夷

扇ふものをくらやたんめ桃　貞清
ちりをまを桃ふ　桃桃　貞義
月乃方八十つ十やも乃数　真之

栗花

十里義や美そんを九里乃栗の花
風をうやちそしさん九里乃花　貞清

梅子

[illegible] 不思議 [illegible] 出 [illegible] 歌 徳元

[illegible] 知 [illegible] 歌 親王

夏草

[illegible] 夏草の [illegible]

[illegible] 人 [illegible] 絵 [illegible]

[illegible] 夏草 [illegible] 筆 [illegible] 一村

[illegible] 武 [illegible]

[illegible] 盃子

山賤 [illegible] の古歌 [illegible]

花と実と二 [illegible] 重頼

美人草

[illegible] 美人草 [illegible]

[illegible] 美人草 信名 吉人

[illegible] 顔

[illegible] 正吉
[illegible] 元吉

麻

[illegible] 徳元

瓜　付茄子　同小角豆

[illegible] 瓜乃車切
[illegible] 瓜
[illegible] 元の十八小角豆

[illegible] 徳元
[illegible] 瓜乃一切　同
[illegible] 青　同
[illegible] 藤判　[illegible] 金[illegible]　貞徳
[illegible] 砂糖瓜　同
[illegible] 瓜茄子　[illegible]
[illegible] 瓜　親王
[illegible] 吉[illegible]　瓜　盛一
唐瓜も照日[illegible]　[illegible]

蓮

奥れ宮山と白く蓮と紅
五葉と咲かるや池の蓮華哉　芭蕉
花乃名もさく法隆寺　安藤
山さまそとそ文は蓮の花瓶式　西蓮
長崎奥の山
紫うつる人玉ゆ蓮乃露　皇一

氷室

足て涼しひしかるや初さくらそん

歩て山、あるを伊吹ゆきまも　盛洗
山口をかるや氷室の氷もち　秋至

祇園會

引まわしも長刀鉾やあ車　貞徳
屋鉾を涼しく初も扇のさ　同
慈童のや菊水鉾の鶴鼓打　同
ひと人縄よ蛸薬師ゑと鼓鉾　同
山鉾小祇園ゑ山と水ゑ　素平
弓矢をハまん山乃数三固ゑ　長吉

[illegible] 重頼

夏月

[illegible] 等

[illegible] 夜の月　俊音

短夜

[illegible] 盛房

[illegible] 永治

蟬

[illegible] 蟬の声　貞徳

武蔵の国にて

[illegible] 同

[illegible] 同

[illegible] 同

[illegible] 同

[illegible] 同

白雨して [illegible] 蟬 [illegible]　俊音

夜乃祢ぶりさめてたえぬ蝉の声　親重

和刕かく

かゝる夜蝉こゑや二瘤の杦　正之

美人とは見もしこのむや蝉乃こゑ　民重

蝉の声や木下闇はほそり髭　重頼

白雨

夕立ハさゝや里すみの乗物

雷ハ見えぬや雲の雲

夕立ハ只一山の紙ひとつ

夕立の朱さや赤文虹乃色

鳴神ハつかふ手ひつ太鼓哉

夕立ハおちて絞をも銚子哉

夕立にまよふや雲も稲光　貞徳

山乃腰小さく夕立や雲の帯　同

またぬ夕立や午の時　同

稲妻ではやや目のさめて川も稲光　徳元

夕立の雨ふる葉月やそらの夢　春可

夕立ハ浪やはれる日てり哉　同

夕立ハ竜も一天國乃摂政　知國

[illegible] 望一
[illegible] 春光
[illegible] 虹の[illegible] 南蒙
[illegible] 伊勢山 良澄
[illegible] 月の影 同
[illegible] 利治
[illegible] 宗俊
[illegible] 長春
[illegible] 正雅
[illegible] 正信

天地てふやうに[illegible] 成重
[illegible] 春人
[illegible] 星月夜 嘉彰

扇

山風に腰ふり[illegible]扇[illegible]
吹風や[illegible]女の袖あつ[illegible]
[illegible]ふりの[illegible]扇[illegible]
[illegible]日ハ[illegible]次扇[illegible] 貞徳
[illegible]赤ひら[illegible]扇[illegible] 同

用法者風つゝみ扇子
つゝ風袋ゝゝ
風ハ文政年中出来
三ヶ月ニ出来ル
涼一ツ代銭十文
あつゝ文政年中扇子
給扇ハ天保年中
編笠ハ汗をあつ
諸人の所ゝ扇や風の神
風袋ハ別て出ル

寿
玄孔
吉長
長純
政
光貞
氏重
芳夏
定
一正

納涼

ゝゝ袋ハ代ハ銭
涼ゝゝ川ゝ
所ゝ
風ゝ
春ゝ
汗ゝ

扇屋
寿
無弘
清親
章光

江戸へ西ゝ
日之入汗ゝ

作
山
徳元

[illegible]や山寺の夢　親王
[illegible]の園の竹　長吉
[illegible]の[illegible]　主竹
[illegible]　重教

御校

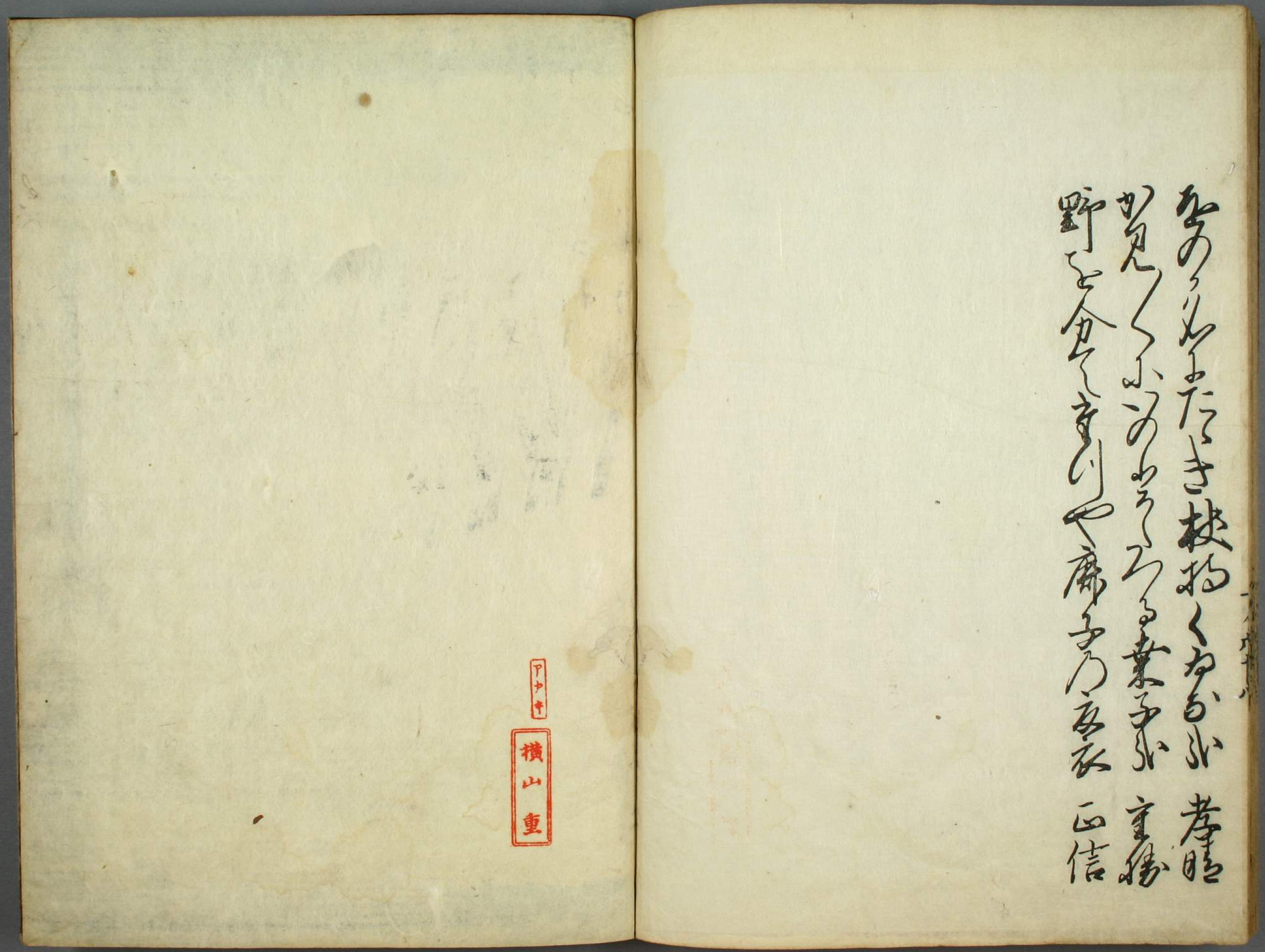
一夜や宮ゐ[illegible]　秋王
紙へ[illegible]
御[illegible]や園[illegible]　重教

雜文

[illegible]
酒[illegible]
[illegible]松山十世の宿
[illegible]の[illegible]風[illegible]　貞徳
朝倉や木丸つ[illegible]ふそ[illegible]山椒　芳茂
武士[illegible]　[illegible]
[illegible]の地[illegible]　貞徳

御彼八日灌佛の会式

佛[illegible]　一之



アヤ十
横山重